

関西大学 初等部  
2012 年度学校評価報告書



2013 年 4 月



# 目 次

2012 年度 関西大学初等部学校評価（自己評価）分析 .....	1
1. 本校の概要 .....	1
2. 今年度の教育活動状況 .....	1
3. 評価の実施にあたって .....	3
4. 評価結果の分析 .....	4
5. まとめ .....	7
初等部学校関係者評価委員会からの評価結果 .....	9
「学校評価（自己点検・評価）」報告書に対する校長の意見書 .....	10

## 参考資料

2012 年度 関西大学初等部 点検・評価項目

2012 年度 学校評価アンケート 集計

2011 年度 関西大学初等部 点検・評価項目

2011 年度 学校評価アンケート 集計



## 2012年度 関西大学初等部学校評価（自己分析）分析

関西大学 初等部

自己点検評価委員会

### 1. 本校の概要

#### ① 沿革

2010年4月に関西大学の初めての小学校として中等部・高等部とともに開校する。住所は高槻市白梅町7-1。開校してまだ3年のため、第5学年までの在籍である。学年2クラス、児童数は312名、教員数は31名（非常勤を含む）である。

#### ② 教育理念

関西大学の教育理念である「学の実化」に基づき、学理と実際の調和を基本とする教育を展開し、「確かな学力」「国際理解力」「健やかな体」「情感豊かな心」を養い、高い倫理観と品格を備えた「高い人間力」を有する人間を育成する。

#### ③ 中期行動計画の進捗

「思考力の育成を中心とした児童の確かな学力の向上」については、各学年に応じたミューズ学習のカリキュラム開発、及び、担当者・担任による指導方法の確立に取り組むとともに、教科特有の思考力についての研究を行った。

「国際理解教育とICTを活用した教育の推進」については、学年進行に伴う交流先の拡大を図るとともに、英語によるコミュニケーションやICT機器等を活用した交流活動を積極的に行った。

「健やかな体と情感豊かな心の育成」に関しては、学年に応じた基本的な生活習慣の定着を図るとともに、千里山キャンパス訪問等による関西大学への帰属意識の醸成に努めた。また、体力向上については今年度から5年生にスキー合宿を取り入れた。

「大学と初等部との連携推進並びに高大接続制度の確立」に関しては、これまでの教員や大学院生とのみの交流だけでなく、今年度から国際部留学生に依頼し、新しく「イングリッシュデー」を開催した。

### 2. 今年度の教育活動状況

昨年度は一昨年度に比較し、職員数がほぼ倍になったが、今年度は専任教員が3名増えたのみで人的には大きな変化はない。

昨年度までは、年度目標と14の重点項目のそれぞれの具体的な内容について学校側から事前の指示があったが、今年度は年度目標と重点項目の中心内容のみの提示があり、より具体的な内容については校務分掌に位置づけられた各部会において設定、実践した。

#### ○ 年度目標

◎ここ数年の実践が、今後の初等部教育の礎となることを常に念頭におくとともに、保護者・教員

の学校評価を真摯に受け止め、互いに信頼・納得しあえる教育に邁進すること。

- ①思考力育成の教育を初等部教育の柱として一層確固たるものにするとともに、ミューズ学習のみでなく教科学習においても思考力育成の授業を積極的に展開すること。
- ②初等部の品格の基礎となる生活規範、学習規範、倫理観、人権意識等について全教育活動を通じ具体的な方策をもって醸成すること。
- ③中等部とのカリキュラム連携を進めるとともに、教科毎に点検・評価を行い、移行・実践に取りかかること。
- ④既存の学年については、これまでの教育実践を点検・評価し、より発展的な教育をめざすとともに、第5学年については、これまでの初等部の実践を踏まえて新たな教育の構築を図ること。

## ○重点内容

### ① 学級経営

- ・一人ひとりの児童の個性や生活環境を十分に把握し、個人としての人格が尊重され、各児童が所属感、存在感もてる学級集団づくりを行い、品位と一体感のある学級を構築する。

### ② 学力向上

- ・一人ひとりの児童に確かな学力を保障するとともに、学校全体として基本的な学習ルールを定着させる。
- ・児童の多様性に応じ、適宜、適切な指導を実践する。
- ・教科学習だけでなく、思考力育成を重視した教育を全ての活動において展開する。
- ・基礎的・基本的事項を中心とした家庭学習を推進する。
- ・中等部との連携を踏まえ、各教科において6年間統一のカリキュラムを完成する。

### ③ 英語教育

- ・英語によるコミュニケーション能力の向上をめざし中等部と連携した指導を進める。
- ・国際交流活動等、児童が英語を用いて実際にコミュニケーションする場面を充実する。
- ・オーストラリア研修旅行に向けて、特に音声面での指導を充実する。

### ④ 国際理解教育

- ・積極的に外部人材やICTを活用するなどして、国際交流活動の機会を充実する。
- ・国際交流活動を通して、自国と他国の文化や考え方の違いを理解、尊重するとともに、自分にもできる国際協力に取り組もうとする資質を育てる。

### ⑤ 図書館教育

- ・多様な読書活動を通じて、考える力、想像する力を高め、豊かな人間性を育む。
- ・教科学習や思考力育成の礎として、発達段階に応じた読書活動を推進する。

### ⑥ ICT環境

- ・発達段階に応じた情報活用能力の育成を図る。
- ・学校・学年の活動等について、ICT環境を活用した情報発信を積極的に試みる。
- ・実際の授業場面においてe-Portfolioを活用する。

### ⑦ 生徒指導

- ・児童相互の良好な人間関係を醸成するとともに、いじめ、不登校問題に対する取り組みを行い、

未然防止を徹底する。

- ・教育活動全般を通してあいさつや言葉遣い等、基本的な生活習慣や学習規範の習得を図る。
- ・学校のきまりや社会のルールに則し、マナーを重んじた考動を習得、定着させる。

#### ⑧ 特別活動

- ・学級・学年や学校行事に積極的に取り組み、仲間意識や自尊感情を高める。
- ・クラブ活動、委員会活動に主体的に取り組むことを通して、自治意識の萌芽を図る。

#### ⑨ 道徳教育

- ・全教育活動を通じ、善悪の判断や基本的な行動規範などの基礎的な道徳価値を定着させるとともに道徳的実践力を養い、学校内外の生活に結びつける。

#### ⑩ 人権教育

- ・かけがえのない互いの「いのち」を大切にする教育を行う。
- ・日常の生活の中で人権意識を認識させ、基礎的な人権意識の向上を図る。
- ・家庭環境や国籍等の互いの「違い」を認め、支えあえる豊かな人間関係を醸成する。
- ・発達段階に応じて、社会における人権問題を認識させるとともに、自らの課題として捉えることのできる能力を養う。

#### ⑪ 健康教育

- ・自らの健康への関心を持たせ、命・食・運動等の大切さを自律的に判断し、主体的に健康保持・増進できる実践的態度を養う。

#### ⑫ 安全管理

- ・児童の登下校や校内外での安全確保について万全を期す。
- ・安全教育により児童自らの危機回避能力の向上に努める。
- ・各種避難訓練を関係機関とも連携を取りながら計画的に実践する。

#### ⑬ 研修

- ・思考スキルに即した教材の開発を進めるとともに教科等においても積極的な導入を図り、学年段階に応じた思考スキルを習得させる。
- ・全般の授業力向上に努めるとともに、研究以外の領域における種々の研修についても計画的に実践する。
- ・第3回研究発表会の成功を期す。

#### ⑭ 入試・広報 連携

- ・情報収集を積極的に行い、外部環境の変化に合った戦略を立て、より効果的な広報活動を行う。
- ・的確な入試選抜を可能にする研究を組織的に行う。

### 3. 評価の実施にあたって

関西大学初等部として、3回目の学校評価（自己評価）を択一式アンケートにより行った。昨年度と同様、教育計画に掲げた重点14項目に示した内容のうち、自己点検・評価委員会が各項目の中心となる実践40観点到精選し、6月末に職員会議に提示、全教員から了解を得た。また、全保護者を対象にアンケート調査を行い、その結果についても次年度の教育活動に反映させることとした。保護者ア

ンケートの文言については昨年のもに若干の修正を加えたが、内容的に殆ど差はない。

アンケートについては昨年度と同様に教員と保護者の観点をできるだけ重複させ、両者の認識の差を明確化できるようにした。

保護者に対しては、無記名で1月24日(木)から2月5日(火)まで、教員については、研究発表会後の2月5日(火)から2月12日(火)まで専任を対象に実施した。

アンケート回収結果は、全保護者312名中289名、回収率92%。内訳は1年生63名、2年生56名、3年生54名、4年生58名、5年生58名である。2、3年生がやや少ないのはこの時期、インフルエンザ等による学級・学年閉鎖と重なったためである。回収率は昨年(88%)より高い。

昨年度の外部評価委員からのご指導は、主に生徒指導、人権教育、ICT環境等に関してであったが、これは正に本校の課題そのものである。まず、生徒指導については生徒指導担当を担任から外し行動しやすくしたこと。また、生徒指導に関わる各指導部会による合同会議を開催するとともに、定例の職員会議で学年の実情や取り組み等を紹介するなど、常に全校の課題として全教員が認識できるように努めた。人権教育に関しては指導内容の年間計画を明確にするとともに道徳の時間とも組み合わせることにし、3年生以上については生徒指導担当による指導の時間も設けることにした。ICT環境の整備については初等部単独の担当を置くとともに、情報を教員間で共有拡大できるようにパソコン機能の整備を図った。また、ホームページによる情報提供の拡大にも努めた。

#### 4. 評価結果の分析

アンケートでは、重点14項目全体を総括するものとして、観点No.1において本校の私学としての独自性・認知度と、No.2において初等部教育全体に対する納得度・満足度について尋ねた。

昨年度は初めてのアンケート調査ということもあってか、No.1では97%、No.2では98%という高い評価を保護者から頂いた。本年度も95%、97%と若干減少したもののほぼ同様の結果となり、保護者が本校の方向性、教育実践等に高い肯定感をもっていることが分かる。

以下、重点内容について昨年度とも適宜比較しながら分析する。

##### ① 学級経営

No.3の学級経営は、担任にとって教育活動全ての基礎となるものであるが、「よくあてはまる」の割合がやや減少しているものの教員全員が肯定的な評価をしており、また、保護者評価においてもほぼ昨年同様の高い評価となっていることから、どの学級においても安定した学級経営がなされたことが分かる。

##### ② 学力向上

No.4からNo.9までが学力向上に関する観点である。保護者が回答するNo.8までを見ると「ややあてはまる」まで含めるとほぼ9割が肯定的な評価をしており、全体として昨年度と変化はない。ただ、教員評価においては、No.4からNo.8の全てにおいて肯定的な評価が減っており、特に、No.5からNo.7では人数的には少ないものの昨年度無かった「あまりあてはまらない」レベルも出ている。学級経営は安定しているにも関わらず、自分自身に対する控えめな回答なのか、或いは不完全燃焼感を持っているのかは不明である。ただ、次年度も教員が増えることもあり、初等部教育の進め方全般について確認し合う場を、年度当初にゆとりをもって設定することが必要であると思われる。また、No.9の中等

部接続に向けたカリキュラム作成については課題の一つであったが、概ねはすでに完成している。6割は肯定感を持っているものの教科によってはやや不安があることが分かる。ただ、このことについては中等部も今年度以上の連携強化を図ることを計画しており、スムーズな学年進行ができると考えている。

### ③ 英語教育

No.10、11が英語教育に関する観点である。カリキュラムはすでに完成しているが、No.9の中等部接続に向けたカリキュラム同様、6年生が実際に履修してからでなければその適否が半別しにくいためか、昨年度とほぼ同様の評価となっている。No.11については教員評価において「よくあてはまる」の割合が若干増えているが、保護者評価は殆ど変化がない。

### ④ 国際理解教育

No.12が国際理解教育に関する観点である。これまでのカンボジア、ハワイ、オーストラリアに加えて、今年度は2年生では韓国、5年生でインドと新しく相手先が増え、活動もテレビ交流だけでなく、大学院生を介しての交流や教員の相互訪問などより活発になっている。これによって初等部の国際理解教育のカリキュラム完成も近くなってきた。教員評価の「よくあてはまる」の割合が昨年度に比べて増加しているのは、このような相手先の拡大、充実と英語授業の参観機会の増加によるものと考えられる。一方、保護者評価においては殆ど変化がない。

### ⑤ 図書館教育

No.13、14が図書館教育に関する項目である。教員評価は昨年度と同じく全員が肯定的な評価である。保護者評価においてはNo.13において肯定的評価が若干増え、図書館教育に関する理解が進んできたことが分かる。また、保護者評価のNo.14は9割以上が肯定的評価となっており、昨年度と殆ど変化がないが、これは読み聞かせやお話教室等に対する評価が定着してきたのではと考えている。

### ⑥ ICT環境

No.15、16がICT環境についての観点である。ICT環境の評価改善も昨年度の反省の一つである。昨年度は両観点とも教員評価に「まったくあてはまらない」というのがあったが今年度は無くなっている。No.15については機器能力の向上や明確な学年目標の設定によるものと考えている。また、課題であったNo.16のホームページによる発信についても教員、保護者ともかなり改善した。これは学年行事に伴う児童の様子をタイムリーに発信できたことと、学校行事の情報を数多く紹介したことによるものだろう。特に事務スタッフの協力が大きかった。

### ⑦ 生徒指導

No.17からNo.19、そして人権教育にも関係するNo.23が生徒指導に関する観点であり、本校の大きな課題である。教員評価は4つの観点の全てで肯定的評価が75%以上を示しているものの、昨年度に比べると下がっている。特にNo.23の「いじめや悪口を許さない学級づくり」では「よくあてはまる」の割合が大きく減少し、「あまりあてはまらない」レベルまで出現している。これはNo.3の学級経営における「よくあてはまる」の割合の減少とも関連があるのではないかと考えている。一方、保護者評価ではNo.17において「よくあてはまる」の割合が増え、挨拶や整理整頓などの基本的な生活習慣の指導に関しては一定の評価を頂いている。残りの3観点についてはほぼ昨年度通りの評価となっており教員評価とは異なっている。どの学年においても特別な事象もなく安定しているが、今後もより高い規律

のある学校をめざして継続して取り組んでいきたい。

#### ⑧ 特別活動

No20、21 が特別活動の観点である。No21 において教師評価が昨年度より僅かにマイナスなのは、文化祭について中等部・高等部との日程調整がうまくいかず、当日のみならずリハーサルにおいても限られた学年しか参加できなかったためと考えられる。次年度は年度当初に十分な調整を行う必要がある。また、運動会についても中等部の時間割の都合上、スムーズな連携とはならなかった。一方、保護者は本校の特別活動にほぼ満足しているようである。No21 については初めての委員会活動ということもあり、児童主体の運営のぎこちなさや年間見通しに不十分さがあつたが次年度は大丈夫であろう。クラブ活動については2年目ということもあり十分な活動ができていたように思う。

#### ⑨ 道徳教育

No27 が道徳教育の観点であり、これも本校の課題の一つである。保護者評価においては昨年度と殆ど差違はないが、教員評価においては「あまりあてはまらない」の割合が減るなど、僅かではあるが改善の傾向が見られる。今後も道徳の時間をはじめ全教育活動において継続した指導を続ける必要がある。

#### ⑩ 人権教育

No23 からNo26 までが主に人権教育に関する観点である。そのうちNo23 については前述したので省く。No24 について保護者評価が良くなっているのはいのちに関する授業を今年度も引き続いて実施し、認識が深まったためと考えられる。No25 は国籍等、互いの違いを認め合う教育である。本校にも外国籍児童が在籍しているが、今回、教員、保護者とも評価が若干下がっているのは、通常の学校生活において児童間に国籍等の違いが話題に上ることはないものの、このような指導があまり意図的に行われなかったことを示している。No26 の人権問題に関する教育についても本校の課題であつたが、教員、保護者評価とも改善されている。これは昨年度の反省に立ち、今年度は明確な年間計画による実践ができたためであると考えている。まだ十分ではなく次年度も充実に努めたい。

#### ⑪ 健康教育

No27、28 が健康教育に関する観点である。健やかな体の育成は本校の大きな教育理念の一つであるが、両観点とも教員、保護者両者とも昨年度に比べて大きく変化していない。年度末に実施予定の全学年によるファンラン（耐寒マラソン）と今年度から実施する5年生のスキー合宿等により内容的には昨年同様、充実した結果が残せると考えている。

#### ⑫ 安全管理

No29 からNo33 までが安全管理に関する観点である。No30、32、33 の保護者評価はいずれも高い評価となっており、開校からの実績が反映されているように思われる。教員評価も概ね良としているが、今年度は緊急時の児童引き渡し訓練や児童自身の危機回避講座なども新たに実施したにも関わらず反映されているようには見えない。これは避難訓練等の回数増に伴い、教員の意識がマンネリ化してきたことも考えられ、次年度はあらためてその意義を確認するとともに、内容、回数等の精査も必要かもしれない。

#### ⑬ 研修

No34 からNo36 までが教員研修に関する観点である。昨年度同様、保護者評価は高い。特に指導力の

向上に努力していることを 95%の保護者に認めて頂いていることは、教員にとって非常に嬉しいことである。一方、研究発表会への評価がそれに比べてやや低いのは、学校の収容人員の関係で保護者参加を認めていないためであろう。教師自身の評価は昨年度に比べて全ての観点において「よくあてはまる」の割合が減少しているが、その理由として考えられるのは、大きく次の二つと考えられる。一つは、今年度の研修テーマが、教科特有の思考スキルを追究するものであったために各担当・教科に任された部分が多く、全体としての統一感が弱かったこと。もう一つは、本校の開設準備委員でもあった本学教授による理論研修の場が今年度は十分に持てず、特に新しいメンバーにとっては本校の研究内容等についての理解が年度スタート時に満足に得られなかったことなどが考えられる。特に後者については、本学との連携項目であるNo.30の観点もかなり下がっていることから判断できている。No.36の第3回研究発表会に関しては、新しく書籍を発行することもでき、また、北海道から沖縄まで700余名の教育関係者に来校頂き、本校のアピールと同時に多くの示唆をもらうことができた。

#### ⑭ 入試・広報 連携

No.37が入試・広報に関する観点である。今年度入試は昨年度に比べて若干応募が少なかった。教科のデモンストレーションや保護者の協力等も得ての活動を行ったが、リーマンショック等の不景気の影響はかなり大きかったと感じている。次年度も今年度同様、事務室スタッフと一体となって頑張りたい。No.38は本学との連携であるが、指導を頂いていた教授の長期海外出張もあって昨年度より充実度を低く感じている。ただ、児童については、昨年からの大学キャンパス訪問や大学院生との交流の他、今年度から新しく国際部留学生との英語交流なども加わり、昨年度よりもかなり充実したものになっている。教育後援会や家庭との連携については、昨年度と大きな変化は無いが、No.40において教員評価が改善しているのは、従前の学年懇談会や個人懇談会に加え、今年度から保護者との茶話会的行事も始まり連携が進んだことを示している。

### 5. まとめ

保護者の学校に対する満足度は、最初に挙げたように昨年度が98%、今年度は97%の肯定的な評価である。このことから今年度の教育実践も成功であったと言って良いだろうが、昨年度のように手放しでは喜ばない。なぜなら教員、保護者共通の32観点のうち、肯定的評価の割合が保護者では16観点、教員では15観点が下がっているからである。また、両者ともに下がっているのは、教員用のアンケート文言で示すと「公立や他私学に負けない教育」、「確かな学力をつけるための工夫された授業」「思考力重視の指導」「各学年に応じた家庭学習」「英語の授業や総合的な時間を使った国際理解教育」「家庭環境や国籍の違いを認め合う教育」の6観点上る。この中には昨年度と僅かな差のものもあるが両者による客観的評価であり、そういう意味では、総括的な意味を持つ「公立や他の私学に負けない教育」を除く5観点が、次年度において先ず改善されるべき課題ということになるであろう。そして、それに続いて改善されなければならないのが教員評価で下降した残りの9観点であり、これらの改善により「公立や他の私学に負けない教育」が実証され、保護者評価にも繋がるものと考えている。また、校風醸成の基礎である生活規範や人権意識等についても、引き続いて向上を図る必要があると考えている。生活規範に関しては、校内のけがの件数が、児童数が増加したにも関わらず昨年度に比べ

てかなり減少するなど、一面ではその成果も出始めており加えての改善に努めたい。次年度はいよいよ6年生まで揃う区切りの年度であり、その6年生からの評価も予定している。初等部教育を完成させ、子どもたちの期待に沿うことを全教員で誓いたい。

以上

## 初等部学校関係者評価委員会からの評価結果

昨年度の保護者評価が非常に高いものであったために、今年度はその反動としての評価が出るのではないかと危惧している部分もあったが、昨年度とほぼ同様の肯定的な評価が出ていることをまず評価したい。まさに学校の評価は教員への評価である。開設当初の不安を打ち消し、今ではそれを確かな信頼に変えることができたのではないかと考えられる。アンケート項目の中で、一部保護者評価が厳しくなった項目があるのは、初等部への理解が深まり、期待度がさらに高まった結果だとも言えよう。教員の研修についても保護者は高く評価しており、研究発表会のシンポジウムの情報などをもっと保護者に提供すればさらに初等部の教育への理解度が高まるのではないだろうか。

観点について言えば、学力向上に関する項目で教員の肯定的評価が全体的に減っているのは、教員の姿勢や力量というよりも、小学校では高学年の児童の学力差が拡大する傾向があるので、学年進行によることも考えられるのではないかと。いずれにしろ今後も継続した注意が必要であろう。また、保護者の間には、中等部・高等部に関して多くの情報を持っていないため若干の不安があるようである。中等部・高等部の魅力を高め、それをしっかり伝えていくことも必要ではないか。初等部・中等部・高等部はどこか1校だけ頑張っても駄目であり、連携・協力して一貫教育の成果を上げて頂きたい。

その他の観点としては、特別活動について教員の評価は下がっているが、実際は教員も子どもたちもよく頑張っていると思うところもある。例えば4年生の二分の一成人式を見学する機会があったが、非常に感動的なものであった。また、「家庭環境や国籍の違いを認め合う教育」についての評価が低いことについては、保護者自身が家庭環境はほぼ同様と考えており、そのために評価しにくいと認識しているのではないかと。質問項目の文言修正等も必要ではないかと思う。

いずれにしろ、全保護者対象のアンケートを実施していること自体、学校として大変勇気のあることだと思う。また、自己評価の厳しい教員がいることについても、学校が発展していくためには必要なことであり、今後も継続した努力を続け、更なる発展を期待したい。

以上

### 【学校関係者評価委員会委員名簿】

氏名	所属及び役職
五十嵐 昭夫	高槻市古曽部町自治会 会長
山崎 勝久	関西大学初等部 教育後援会 前会長
浜野 潔	関西大学経済学部 教授 ※評価結果とりまとめ執筆者
田中 明文	関西大学初等部 校長

2013年3月22日

## 「学校評価（自己点検・評価）」報告書に対する校長の意見書

関西大学初等部

校長 田中明文

昨年度に引き続き、今年度も保護者から高い評価を頂いたことに感謝している。関係者評価委員の言葉にあるように「学校の評価は教員への評価である」ということであれば、とても嬉しいことであり、その指導にしっかりと応えてくれた子どもたちの努力の結果であると思う。

しかしながら指摘された課題も多く、次年度はこれらの改善に向けた取り組みを着実にやっていかなくてはならないと考えている。

学習指導に関しては本校教育の柱である思考力育成についての指摘もあり、まず、このことについて教員全員で理解を深め統一した方向性を持ちたい。その上で、今年度の研究内容でもあった教科における思考力の育成をさらに進めることによって改善への道を開いていきたいと考えている。保護者は本校の研究について高く評価しており、その成果を児童一人ひとりにきちんと反映させていきたい。

生徒指導に関しては、人格の基盤と良好な校風の基礎をつくるという現在の方向性を維持し、挨拶や返事、整理整頓、通学マナーなどの基本的な生活習慣の定着を継続して進めたい。今年度は教員による指導の一方、児童自身による主体的な活動も効果があったと考えており、6年生までが揃う次年度はさらに児童自身の意識が向上するものと期待している。特に、「いじめを許さない学級作り」については高い人権意識を備えた教員と児童自らの自覚が必要であり、年度当初に全教員で学級経営の基本を再確認し、教員自らの人権意識の向上を図るとともに、児童への啓発も積極的に行っていきたい。

人権教育は、今年度少し前進できたと考えている。国籍等の違いを認め合う教育については、総合的な学習で進めている国際理解教育の充実とも絡めて考えていきたい。

これらの他に、次年度の大きな課題として考えているのは中等部との連携である。教科の学習カリキュラムについては内容の移動や置き換えなど、基本的なことについては既に出来ており、今年度の実践から検証を進め、より実態にあったものを構築していきたい。また、関係者評価委員からは中等部・高等部進学に対する保護者の不安も示されており、このことについては意思疎通を一層深めながら適切な情報を提供していきたいと考えている。現段階では昨年が続いての進学説明会の他、新たに保護者や児童に対してのオープンスクールを予定しており、まずはこれらをスタートとしたい。

次年度はいよいよ学校として一定の形が完成する年度である。新たなメンバーも加わり、さらに学校全体が活性化すると期待しており、保護者の信頼に沿えるよう、教職員と手を携えて着実に前進したい。

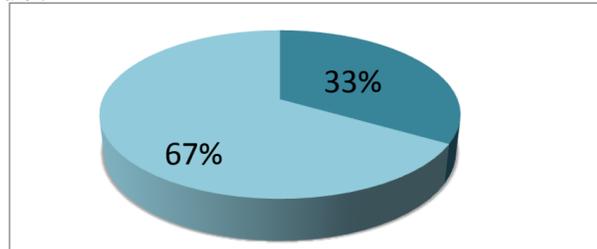
以上

項目	教師用質問	保護者用質問
◎私学の独自性	(1)「学の実化」の精神や校訓に則った教育が行われている。	(1)関西大学の「学の実化」の精神や初等部の教育方針・校訓についてご存知ですか。
(教育方針)	(2)関西大学初等部では公立や他私学に負けない教育が行われている。	(2)保護者として子どもを関西大学初等部に入学させて良かったと思われませんか。
(1)学級経営	(3)一人ひとりが大事にされる学級作りが行われている。	(3)お子さんは学校が楽しいと言っていますか。
(2)学力向上	(4)基本的な学習ルールが学年に応じて身につけられている。	(4)お子さんの授業中の学習態度はきちんと身に付いていると思われませんか。
	(5)確かな学力をつけるための工夫された授業が行われている。	(5)学力をつけるために工夫された授業が行われていると思われませんか。
	(6)思考力重視の指導が積極的に行われている。	(6)どの学年でも思考力の育成を重視した教育が積極的に進めていると思われませんか。
	(7)シラバスに則った授業や新教育課程への対応がなされている。	(7)シラバスや週案に対応した学習が適切に進められていると思われませんか。
	(8)各学年に応じた家庭学習が推進されている。	(8)学年に応じて宿題や自由学習などの家庭学習を積極的にすすめていると思われませんか。
	(9)中等部接続に向けたカリキュラム作成に取り組んでいる。	
(3)英語教育	(10)初等部一貫のカリキュラム作成に取り組んでいる。	
	(11)会話を重視するなど、工夫した英語の授業がなされている。	(11)会話を重視するなど初等部の英語教育は工夫されていると思われませんか。
(4)国際理解	(12)英語の授業や総合的な学習の時間を使った国際理解教育が推進されている。	(12)テレビ交流など外国と積極的に国際交流を進めていると思われませんか。
(5)図書館	(13)学校図書館を使って教科学習を含む多様な学習が行われている。	(13)図書館では読書だけでなく、ミュージック学習など多様な教育が行われていることをご存知ですか。
	(14)人間性の育成や思考力育成の礎として積極的な読書指導が行われている。	(14)読書の時間などを設けるなど積極的な読書指導が行われていると思われませんか。
(6)ICT	(15)学年に応じて多くの教科等で計画的な利用がなされている。	(15)授業などで電子黒板やコンピュータ等の教育機器がよく利用されていると思われませんか。
	(16)学校の情報がHPや学年・学級通信等によって積極的に発信されている。	(16)HPや学年・学級通信等から初等部の様子を多く知ることができるようになったと思われませんか。
(7)生徒指導	(17)基本的な生活習慣などの指導が積極的になされている。	(17)挨拶や返事などの基本的な生活習慣の指導が積極的になされていると思われませんか。
	(18)いじめや不登校などの未然防止に取り組んでいる。	(18)いじめや不登校が起こらないように取り組んでいると思われませんか。
	(19)登下校のルールなどについて積極的に指導されている。	(19)交通ルールや集団下校指導など、適切な登下校指導が行われていると思われませんか。
(8)特別活動	(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事に積極的に取り組んでいる。	(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事が積極的に行われていると思われませんか。
	(21)クラブや委員会活動において自治意識や友だち作りを図っている。	
(9)道徳教育	(22)基本的な道徳的価値や実践力等の育成を積極的に行っている。	(22)授業や多くの機会を通じて道徳心の育成を積極的に行っていると思われませんか。
(10)人権教育	(23)いじめや悪口を許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいる。	(23)いじめや悪口を許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。
	(24)「いのち」をテーマにした授業に積極的に取り組んでいる。	(24)学年に応じて「いのちや成長に関する授業」に積極的に取り組んでいると思われませんか。
	(25)家庭環境や国籍の違いを認め合う教育を進めている。	(25)一人ひとりの違いを認め合う教育を積極的に行っていると思われませんか。
	(26)学年に応じて、社会における人権問題に関する教育を進めている。	(26)学年に応じて、社会における人権問題に関する教育を行っていると思われませんか。
(11)健康教育	(27)運動に対する意欲・関心を高め、積極的な体力作りを行っている。	(27)縄跳びカードや水泳カードを活用して積極的な体力作りを行っていると思われませんか。
	(28)「健康」「食」「いのち」に対する意欲・関心を高める取組を積極的に行っている。	(28)「給食献立大募集」や「朝ご飯コンテスト」等の食育の取組を積極的に行っていると思われませんか。
(12)安全管理	(29)登下校の安全管理のため、各児童の登下校路等の集約ができている。	
	(30)各児童の登下校状況が確実にチェックされ、円滑に家庭連絡されている。	(30)ICタグによるチェックなど登下校の状況把握が確実にされていると思われませんか。
	(31)児童自らの危機回避能力の向上に努めている。	
	(32)警報発令時等の登下校指示が明確に家庭に伝わっている。	(32)「警報発令時等の登下校について」の内容についてご存知ですか。
	(33)各種避難訓練を教育課程に位置づけ、計画的に実施している。	(33)初等部では地震や火災などの避難訓練を計画的に実施していると思われませんか。
(13)研修	(34)思考力育成や授業全般の指導力向上の研修を積極的に実施している。	(34)初等部の教員は授業研究などを通して授業力の向上に努めていると思われませんか。
	(35)思考スキルを取り入れた教科指導を積極的に試みている。	
	(36)第3回研究発表大会の成功に向けて全体で積極的に取り組んでいる。	(36)研究発表大会は初等部の教育の推進に役立っていると思われませんか。
(14)入試広報	(37)計画的な入試・広報活動が行われている。	
・連携	(38)研修を中心に関西大学との連携が積極的に行われている。	
	(39)教育後援会と緊密な連携が行われている。	(39)初等部は教育後援会と緊密な連携がとれていると思われませんか。
	(40)学校と家庭との連絡や相談が必要に応じて適切に行われている。	(40)学校・学級からの連絡や相談が必要に応じて適切に行われていると思われませんか。

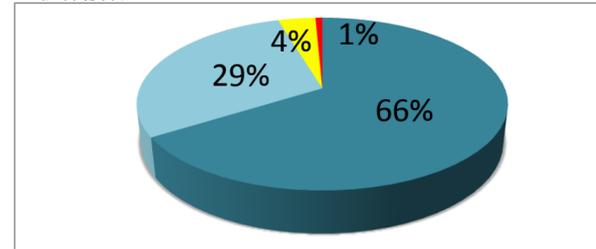
2012年度 学校評価アンケート 集計

回収数 全校保護者・・・289名(92%) 専任教諭・・・18名

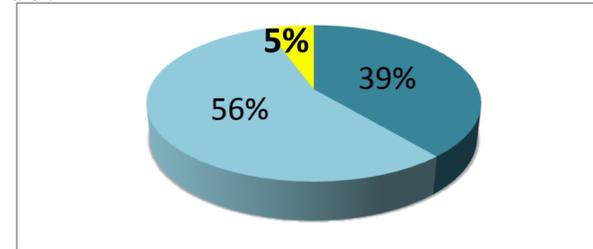
(1)「学の実化」の精神や校則に則った教育  
教員



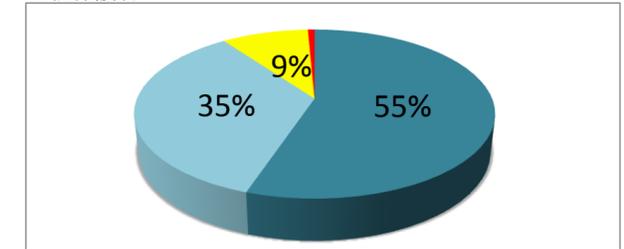
全校保護者



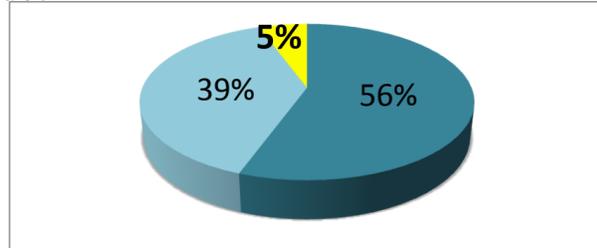
(5)確かな学力をつけるための工夫された授業  
教員



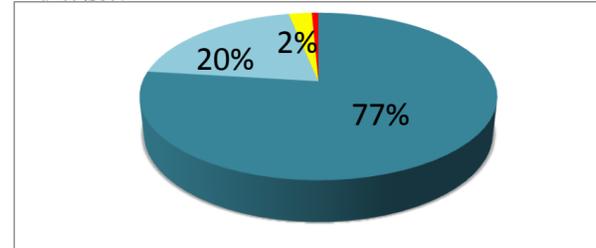
全校保護者



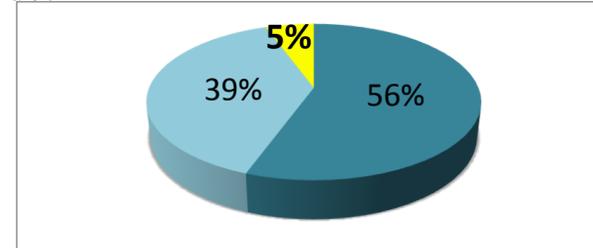
(2)公立や他私学に負けない教育  
教員



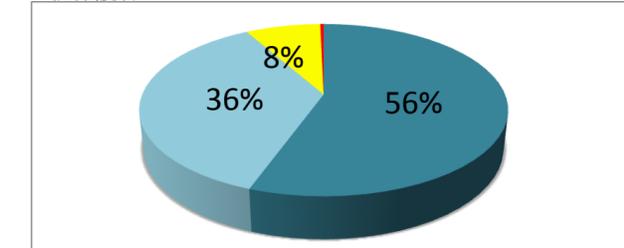
全校保護者



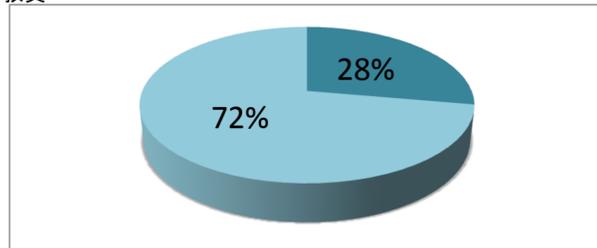
(6)思考力重視の指導  
教員



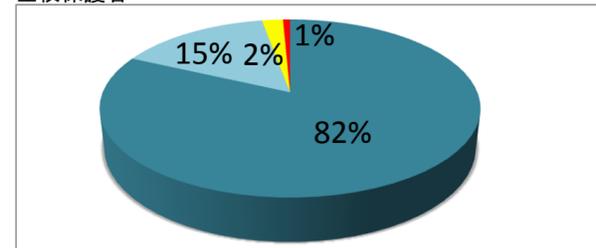
全校保護者



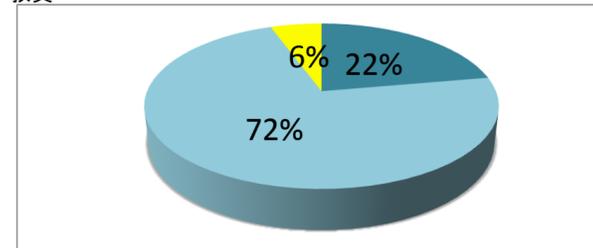
(3)一人一人が大事にされる学級作り  
教員



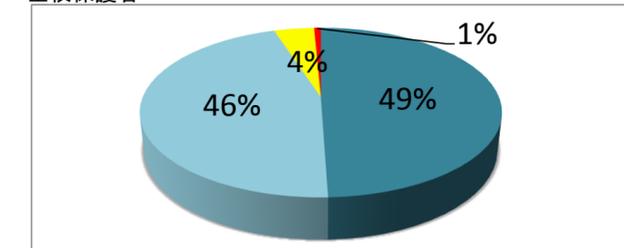
全校保護者



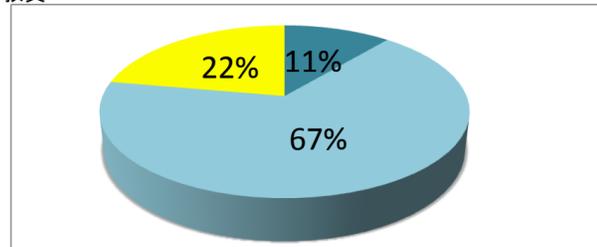
(7)シラバスに則った授業や新教育課程への対応  
教員



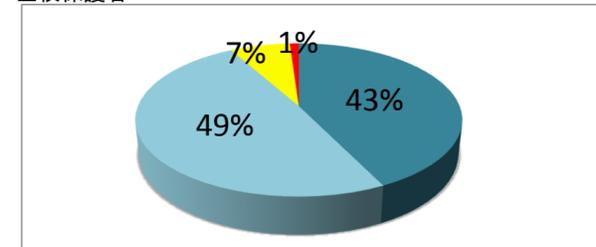
全校保護者



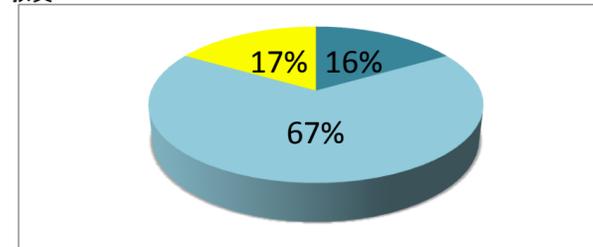
(4)基本的な学習ルール  
教員



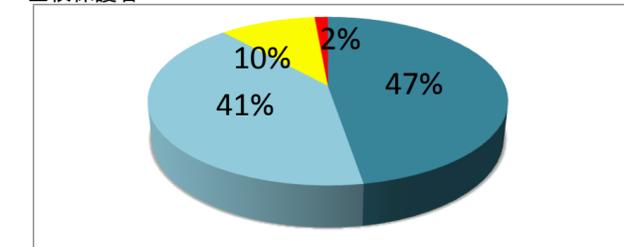
全校保護者



(8)各学年に応じた家庭学習  
教員

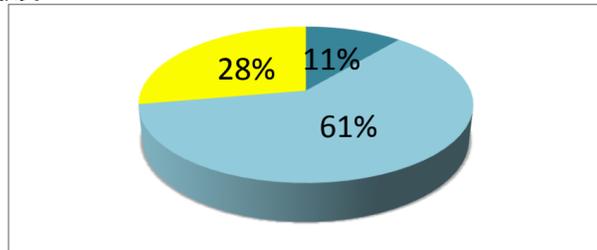


全校保護者



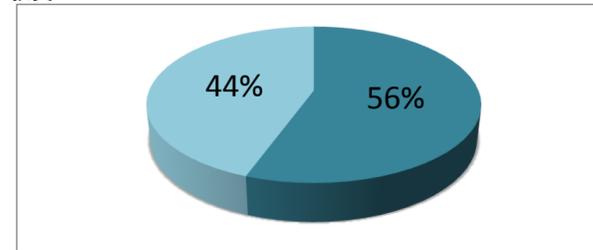
(■) 1. よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3. あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない

(9) 中等部接続に向けたカリキュラム作成  
教員



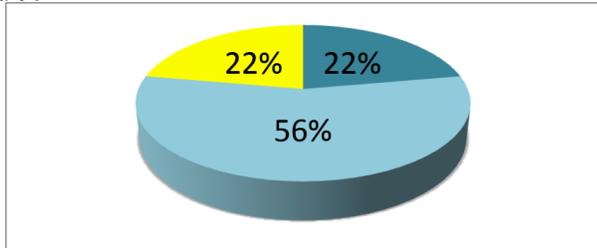
全校保護者

(13) 学校図書館を使った教科学習を含む多様な学習  
教員



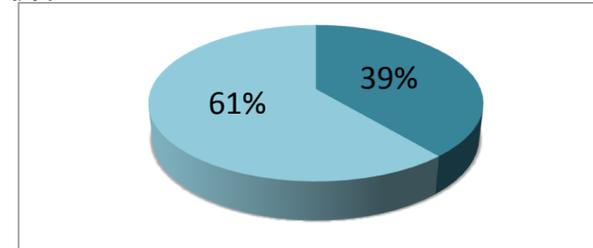
全校保護者

(10) 初等部一貫の英語カリキュラム作成  
教員



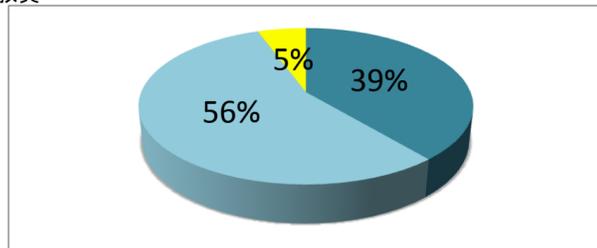
全校保護者

(14) 人間性の育成や思考力育成の礎としての積極的な読書指導  
教員



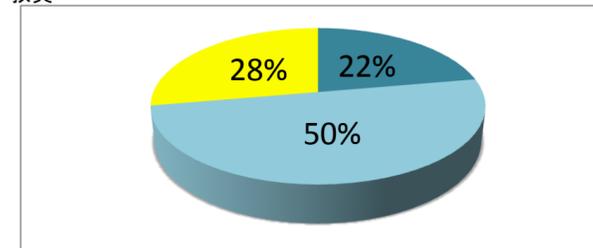
全校保護者

(11) 会話を重視するなど、工夫した英語の授業  
教員



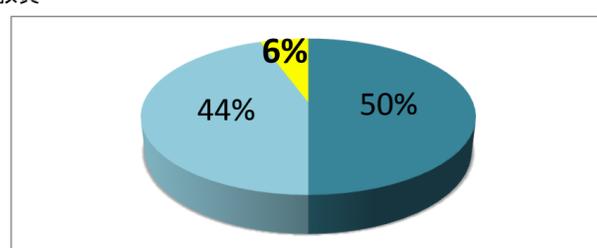
全校保護者

(15) 学年に応じて多くの教科等でのICT利用  
教員



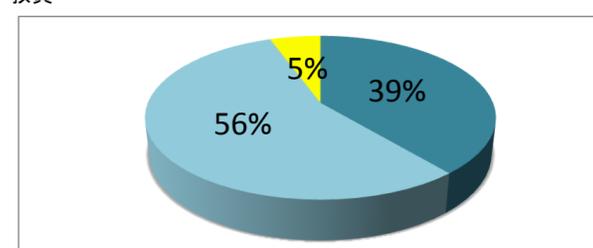
全校保護者

(12) 英語の授業や総合的な時間を使った国際理解教育  
教員

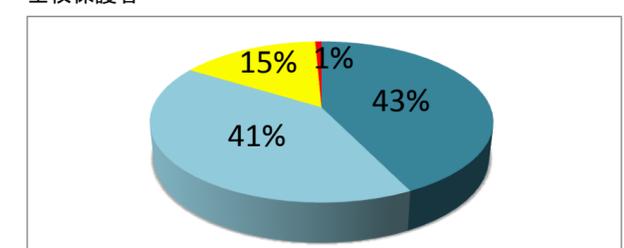
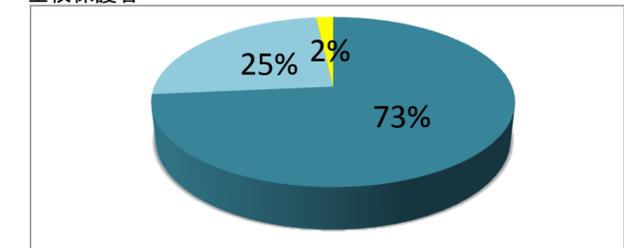
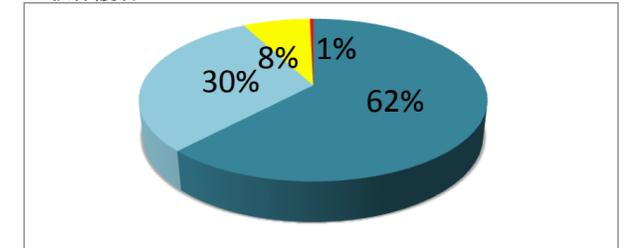
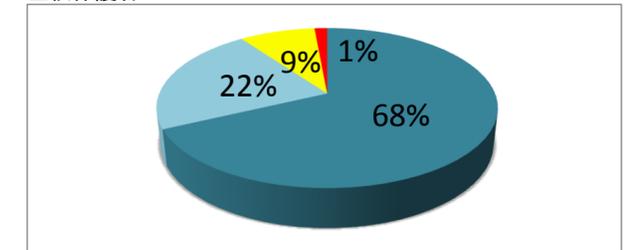


全校保護者

(16) 学校の情報をHPIによって積極的に発信  
教員

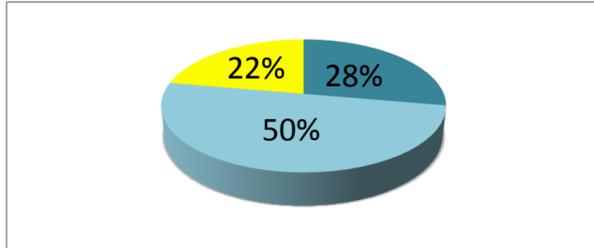


全校保護者

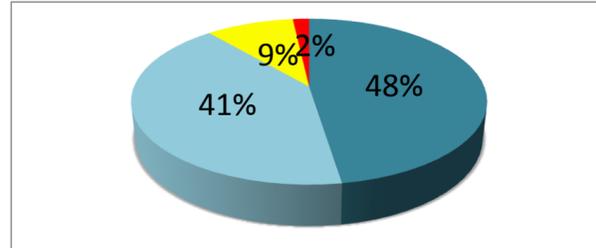


(■) 1. よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3. あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない

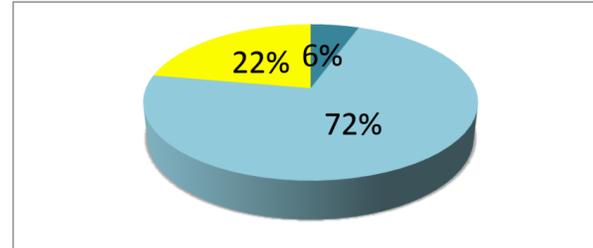
(17)基本的な生活習慣などの積極的な指導  
教員



全校保護者

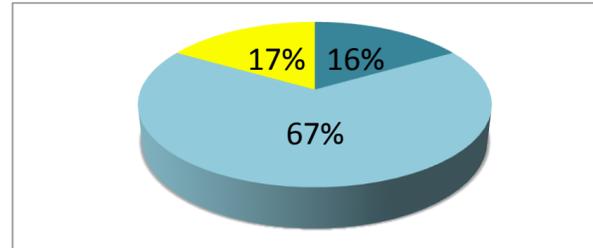


(21)クラブや委員会活動において自治意識や友達作り  
教員

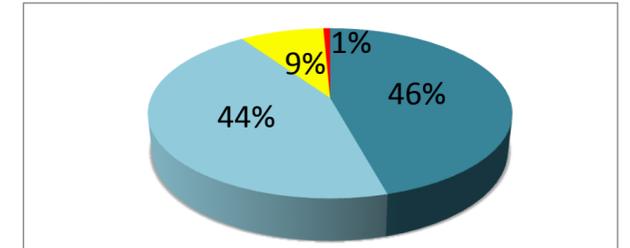


全校保護者

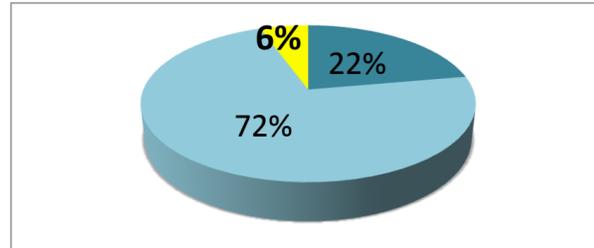
(22)基本的な道徳的価値や実践力等の育成  
教員



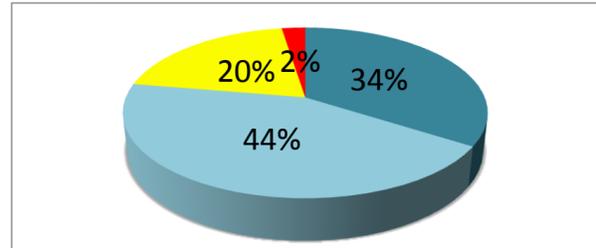
全校保護者



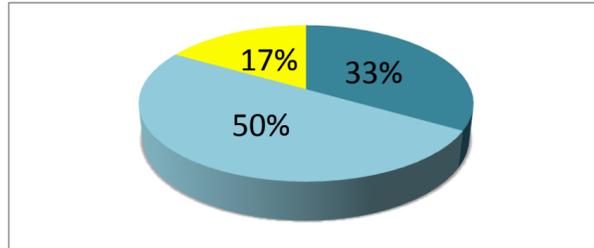
(18)いじめや不登校などの未然防止  
教員



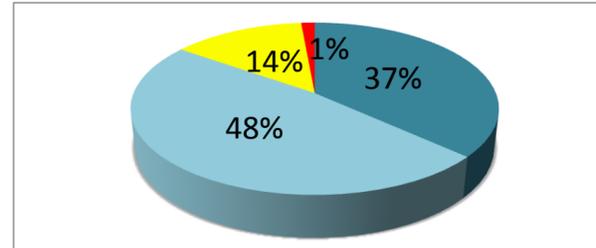
全校保護者



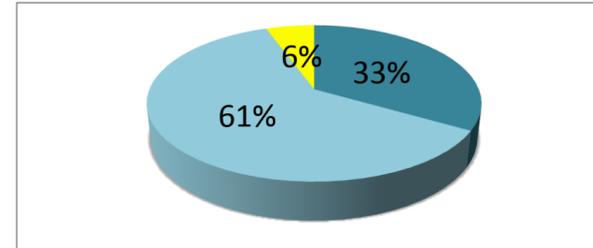
(19)登下校のルールなどの適切な指導  
教員



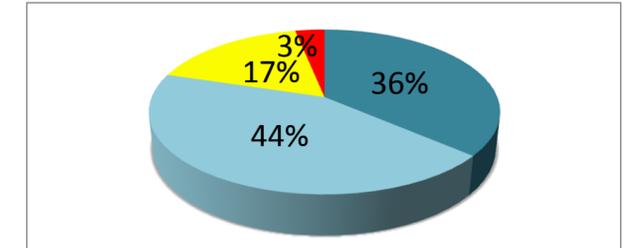
全校保護者



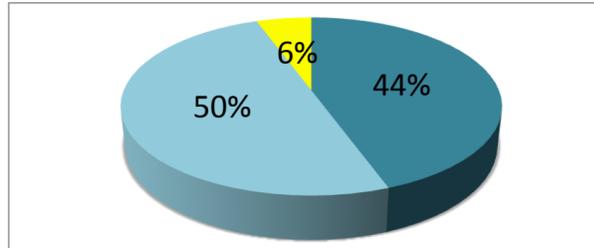
(23)いじめや悪口を許さない学校・学級作り  
教員



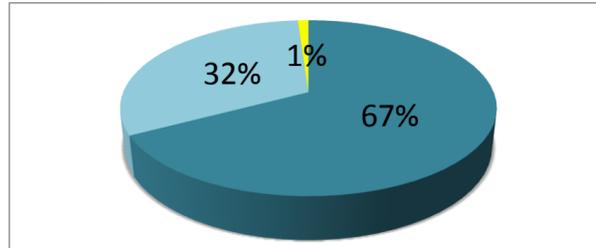
全校保護者



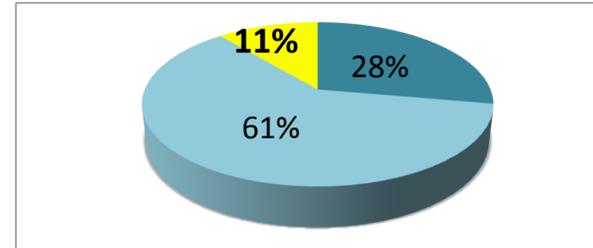
(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事  
教員



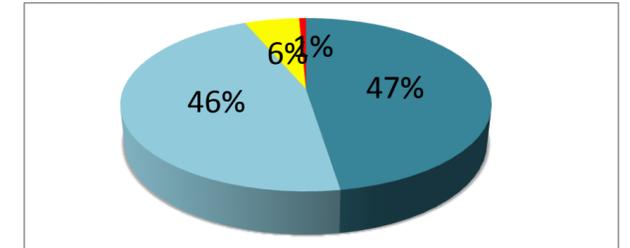
全校保護者



(24)いのちをテーマとした授業  
教員

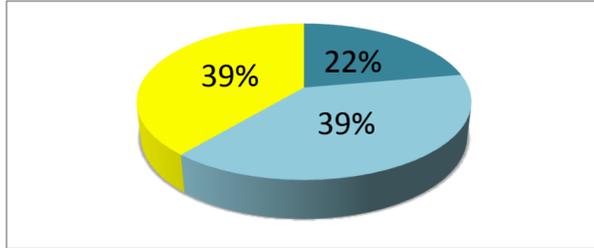


全校保護者

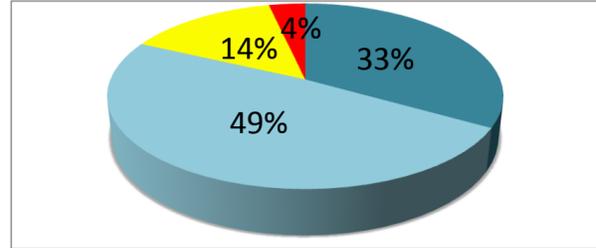


(■ 1.よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3.あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない)

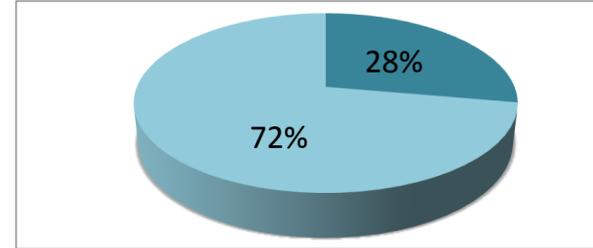
(25)家庭環境や国籍の違いを認め合う教育  
教員



全校保護者

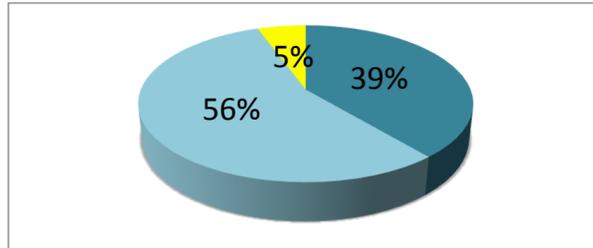


(29)登下校の安全管理のための各児童の登下校等の集約  
教員

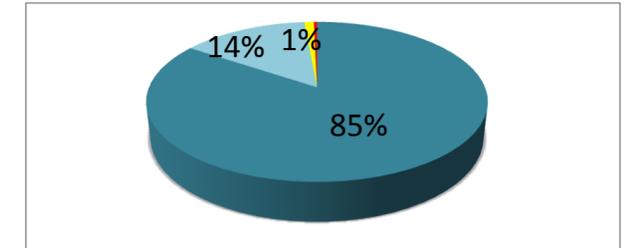


全校保護者

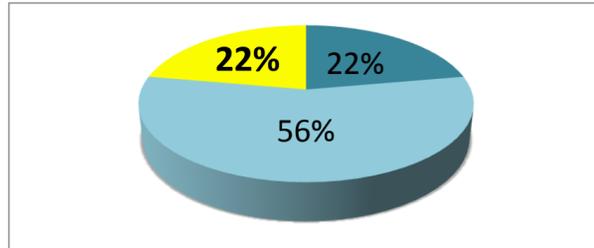
(30)各児童の登下校状況のチェック  
教員



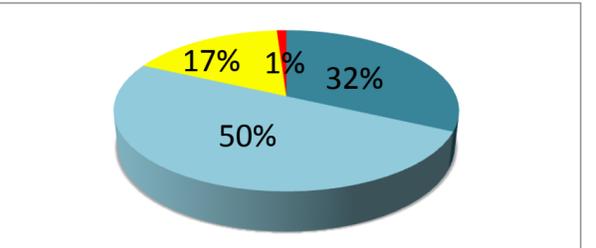
全校保護者



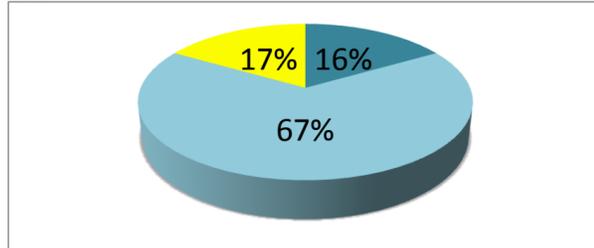
(26)学年に応じた社会における人権問題に関する教育  
教員



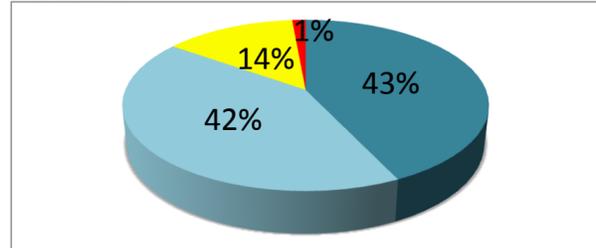
全校保護者



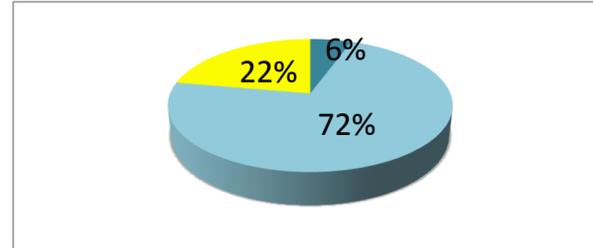
(27)運動に対する意欲・関心を高め、積極的な体力作り  
教員



全校保護者

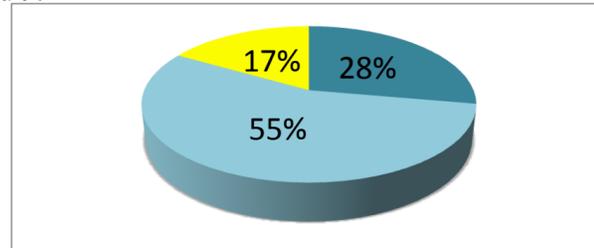


(31)児童自らの危機回避能力の向上  
教員

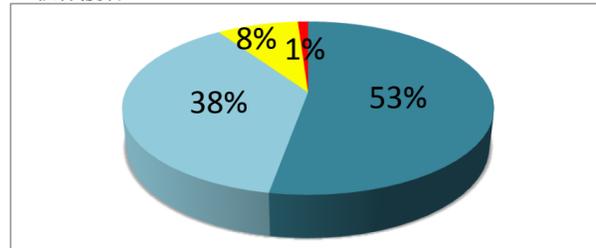


全校保護者

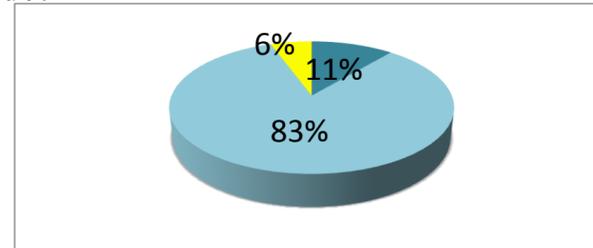
(28)健康や食に対する意欲・関心を高めるための取り組み  
教員



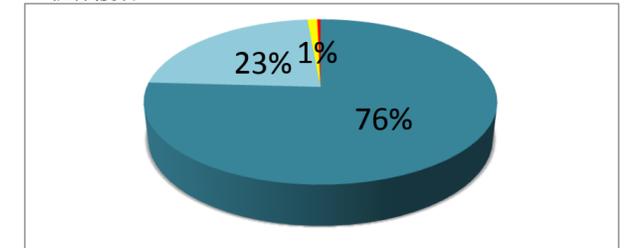
全校保護者



(32)警報発令時の登下校指示  
教員

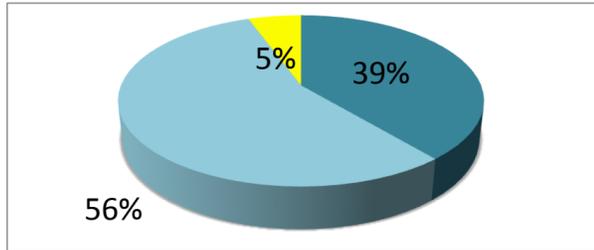


全校保護者

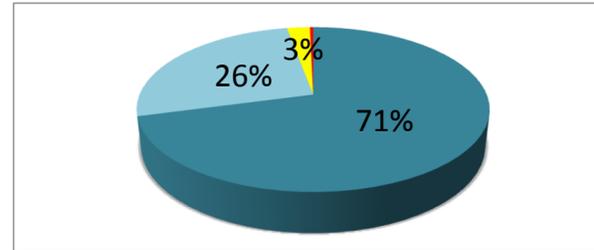


(■ 1.よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3.あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない)

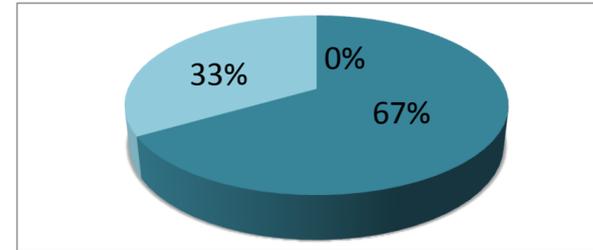
(33)各種避難訓練を教育課程に位置づけ、計画的に実施  
教員



全校保護者

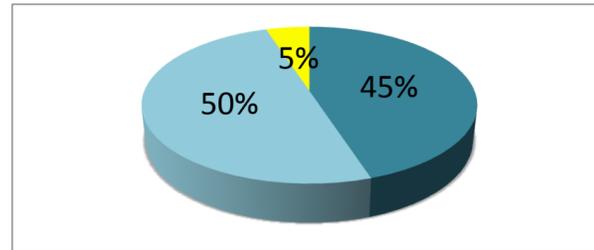


(37)計画的な入試・広報活動  
教員

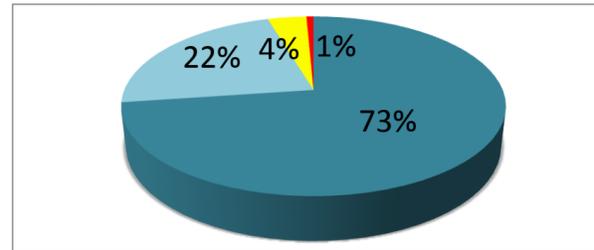


全校保護者

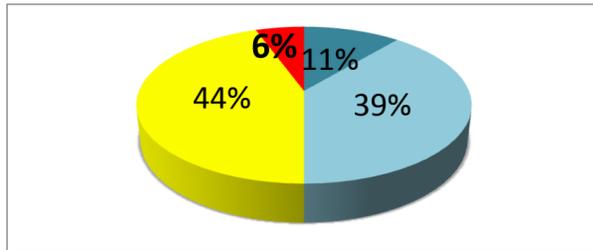
(34)思考力育成や授業全般の指導力向上の研修  
教員



全校保護者

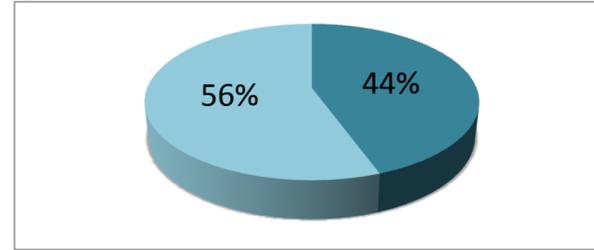


(38)研修を中心に関西大学との連携  
教員



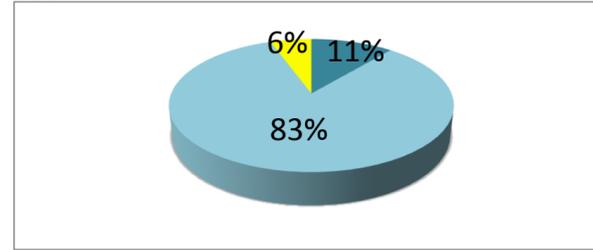
全校保護者

(35)思考スキルを取り入れた教科指導  
教員

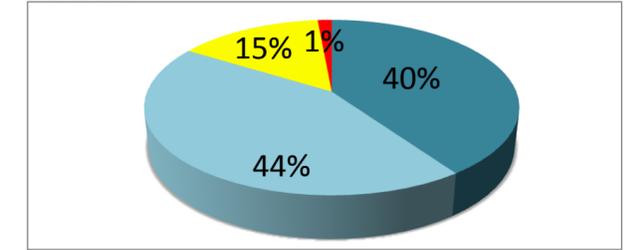


全校保護者

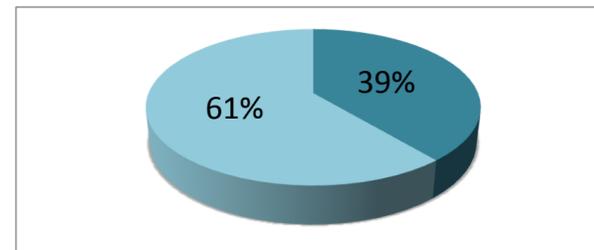
(39)教育後援会との緊密な連携  
教員



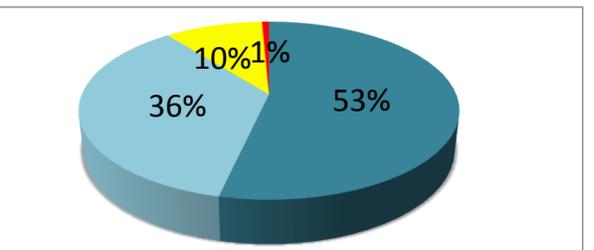
全校保護者



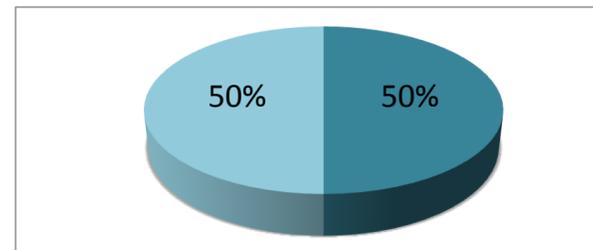
(36)第2回研究発表大会の成功に向けた積極的な取り組み(初等部教育の推進に役立っている)  
教員



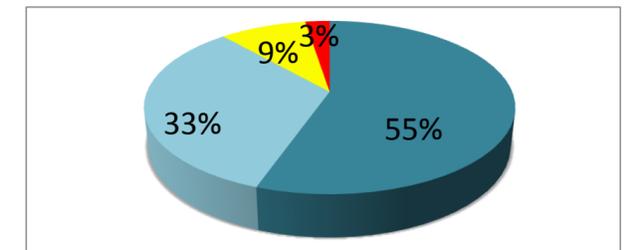
全校保護者



(40)学校や家庭との連絡や懇談  
教員



全校保護者



(■ 1.よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3.あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない)

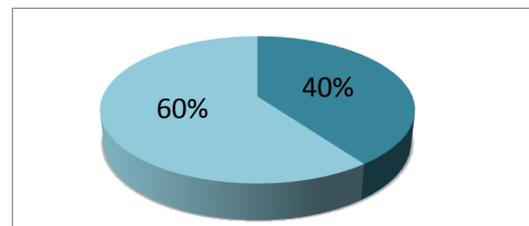
2011年度 関西大学初等部 点検評価項目

項目	教師用質問	保護者用質問
◎私学の独自性	(1)「学の実化」の精神や校訓に則った教育が行われている。	(1)関西大学の「学の実化」の精神や初等部の教育方針・校訓についてご存知ですか。
(教育方針)	(2)関西大学初等部では公立や他私学に負けない教育が行われている。	(2)保護者として子どもを関西大学初等部に入学させて良かったと思いますか。
(1) 学級経営	(3)一人ひとりが大事にされる学級作りが行われている。	(3)お子さんは生き生きとした学校生活を送っていると思いますか。
(2) 学力向上	(4)基本的な学習ルールが学年に応じて身につけられている。	
	(5)確かな学力をつけるための工夫された授業が行われている。	(5)学力をつけるために工夫された授業が行われていると思いますか。
	(6)思考力重視の指導が積極的に行われている。	(6)思考力の育成を重視した教育が積極的に進められていると思いますか。
	(7)シラバスに則った授業や新教育課程への対応がなされている。	(7)シラバスや週案に対応した学習が適切に進められていると思いますか。
	(8)各学年に応じた家庭学習が推進されている。	
	(9)中等部接続に向けたカリキュラム作成に取り組んでいる。	
(3) 英語教育	(10)初等部一貫のカリキュラム作成に取り組んでいる。	
	(11)会話を重視するなど、工夫した英語の授業がなされている。	(11)初等部の英語教育はコミュニケーションを重視するなどの工夫がされていると思いますか。
(4) 国際理解	(12)英語の授業や総合的な学習の時間を使った国際理解教育が推進されている。	(12)テレビ交流など、外国と積極的に国際交流を進めていることをご存知ですか。
(5) 図書館	(13)学校図書館を使って教科学習を含む多様な学習が行われている。	
	(14)人間性の育成や思考力育成の礎として積極的な読書指導が行われている。	(14)時間割に図書時間を設定するなど、積極的な読書指導が行われていると思いますか。
(6) ICT	(15)教科等でパソコンなどの教育機器が活用されている。	(15)どの学年でも電子黒板やコンピュータ等の教育機器がよく利用されていると思いますか。
	(16)学校の情報がHPによって積極的に発信されている。	(16)ホームページから初等部の様子を多く知ることができるようになったと思いますか。
(7) 生徒指導	(17)基本的な生活習慣などの指導が積極的になされている。	(17)挨拶や返事など、基本的な生活習慣の指導に積極的に取り組んでいると思いますか。
	(18)いじめや不登校などの未然防止に取り組んでいる。	(18)子どもの友人関係や登校しぶりなどについて、学校は連絡や相談などがしやすいと思いますか。
	(19)登下校のルールなどについて積極的な指導が行われている。	(19)生徒指導だよりや集団下校指導などを通して適切な登下校指導が行われていると思いますか。
(8) 特別活動	(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事に積極的に取り組んでいる。	(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事が積極的に行われていると思いますか。
	(21)クラブや委員会活動において自治意識や友だち作りを図っている。	
(9) 道徳教育	(22)基本的な道徳的価値や実践力等の育成を積極的に図っている。	(22)道徳の時間など、多くの機会や場を通じて道徳心の育成が行われていると思いますか。
(10) 人権教育	(23)悪口や暴力を許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいる。	(23)悪口や暴力を許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思いますか。
	(24)「いのち」をテーマにした授業に積極的に取り組んでいる。	(24)学年や発達に応じて「いのちや成長に関する授業」が行われていることをご存知ですか。
	(25)個や家庭環境、国籍等の違いを認め合う教育を進めている。	(25)性別等に関係なく、一人ひとりのよさや違いを認め合う教育が行われていると思いますか。
	(26)学年に応じて、社会における人権問題に関する教育を進めている。	(26)学年に応じて、社会における人権問題に関する教育を行っていることをご存知ですか。
(11) 健康教育	(27)運動に対する意欲・関心を高め、積極的な体力作りを行っている。	(27)縄跳びカードや水泳カードを活用するなど、体力作りに取り組んでいることをご存知ですか。
	(28)健康や食に対する意欲・関心を高めるための取組を積極的に行っている。	(28)「理想の朝ご飯コンテスト」など、食育に関する取り組みを行っていることをご存知ですか。
(12) 安全管理	(29)登下校の安全管理のため、各児童の登下校路等の集約ができています。	
	(30)各児童の登下校状況が確実にチェックされ、円滑に家庭連絡されている。	(30)登下校の状況把握が確実になされ、安心して通学させることができる学校だと思いませんか。
	(31)児童自らの危機回避能力の向上に努めている。	(31)危険にあった場合の対処方法などについての指導がなされていることをご存知ですか。
	(32)警報発令時等の登下校指示が明確に家庭へ伝わっている。	(32)「警報発令時等の登下校について」の内容についてご存知ですか。
	(33)各種避難訓練を教育課程に位置づけ、計画的に実施している。	(33)初等部では地震や火災などの避難訓練を計画的に実施していることをご存知ですか。
(13) 研修	(34)思考力育成や授業全般の指導力向上の研修を積極的に実施している。	(34)初等部の教員は授業研究などを通して授業力の向上に努めていると思いますか。
	(35)思考スキルを取り入れた教科指導を積極的に試みている。	
	(36)第2回研究発表大会の成功に向けて全体で積極的に取り組んでいる。	(36)研究発表大会は初等部の教育の推進に役立っていると思いますか。
(14) 入試広報	(37)計画的な入試・広報活動が行われている。	
・連携	(38)研修を中心に関西大学との連携が積極的に行われている。	
	(39)教育後援会と緊密な連携が行われている。	(39)学校は教育後援会と緊密な連携ができていると思いますか。
	(40)学校と家庭との連絡や懇談が積極的に行われている。	(40)学校・学級からの連絡や保護者懇談会などが積極的になされていると思いますか。

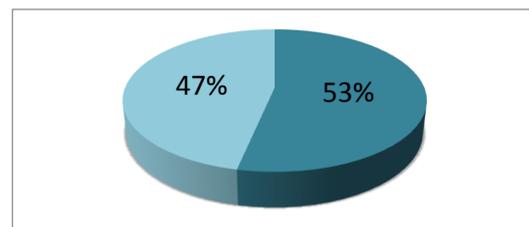
2011年度 学校評価アンケート 集計

回収数 全校保護者・・・219名 専任教諭・・・15名

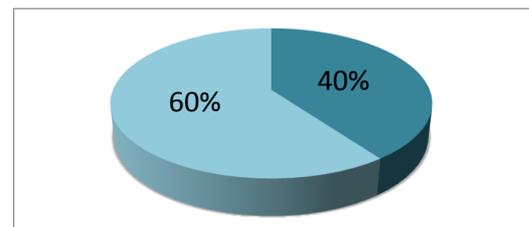
(1)「学の実化」の精神や校則に則った教育  
教員



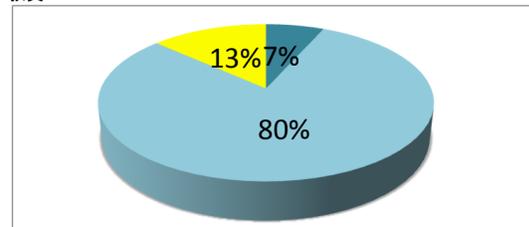
(2)公立や他私学に負けたくない教育  
教員



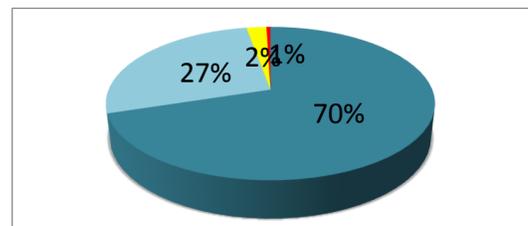
(3)一人一人が大事にされる学級作り  
教員



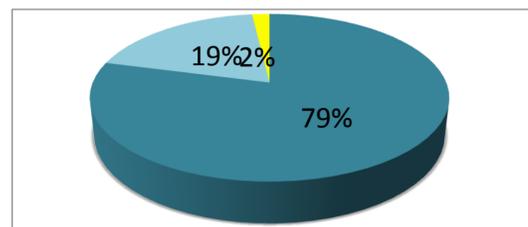
(4)基本的な学習ルール  
教員



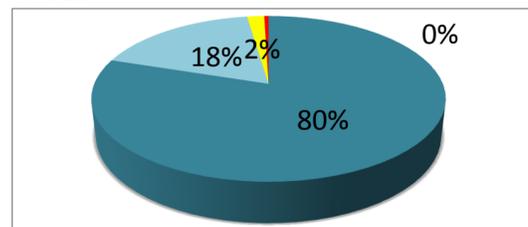
全校保護者



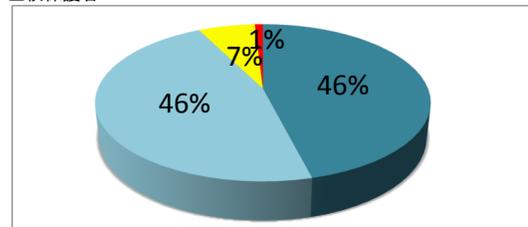
全校保護者



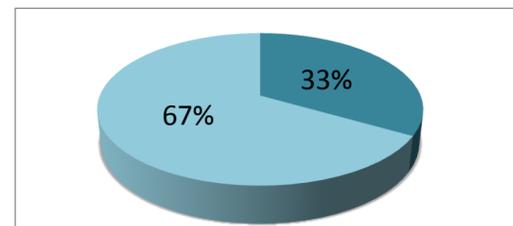
全校保護者



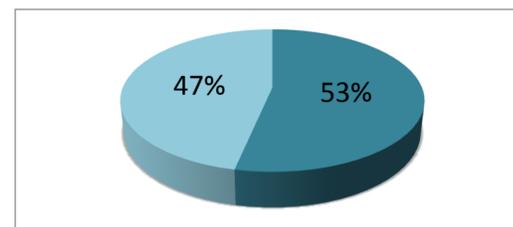
全校保護者



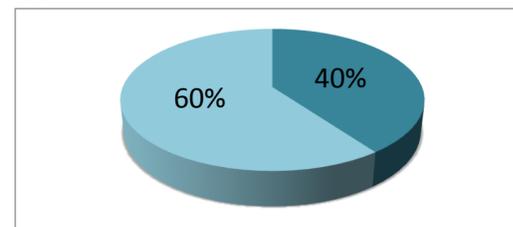
(5)確かな学力をつけるための工夫された授業  
教員



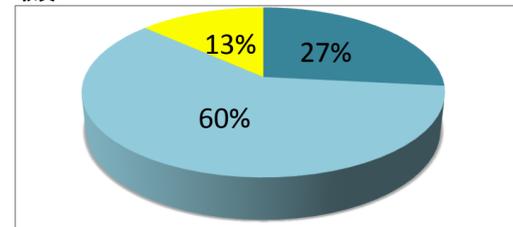
(6)思考力重視の指導  
教員



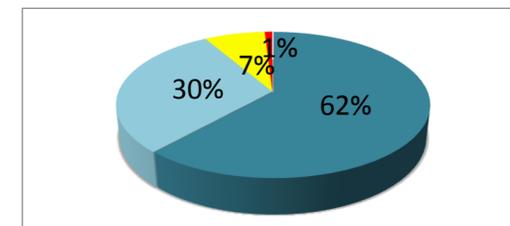
(7)シラバスに則った授業や新教育課程への対応  
教員



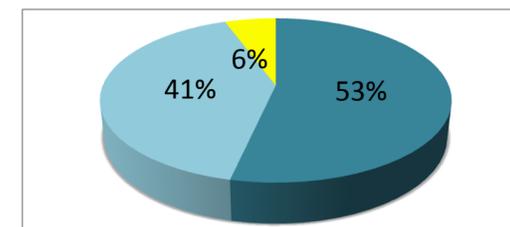
(8)各学年に応じた家庭学習  
教員



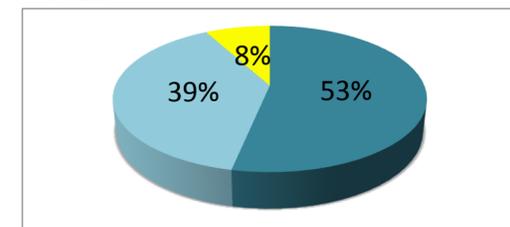
全校保護者



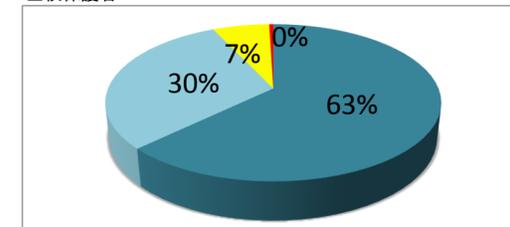
全校保護者



全校保護者

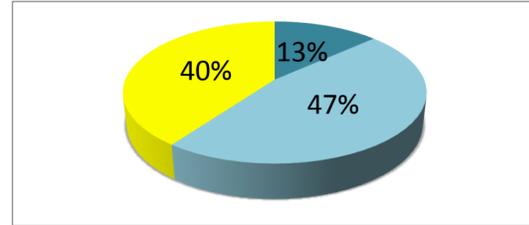


全校保護者



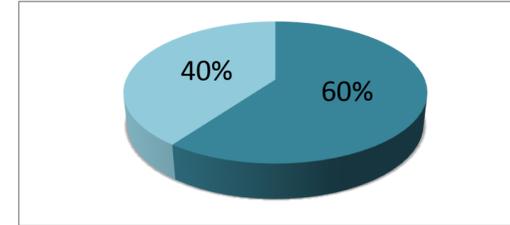
(■1.よくあてはまる ■2. ややあてはまる ■3.あまりあてはまらない ■4. まったくあてはまらない)

(9) 中等部接続に向けたカリキュラム作成  
教員



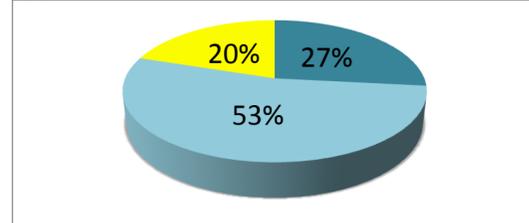
全校保護者

(13) 学校図書館を使った教科学習を含む多様な学習  
教員



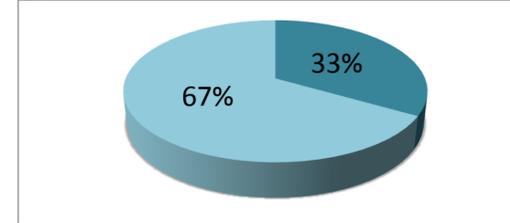
全校保護者

(10) 初等部一貫の英語カリキュラム作成  
教員



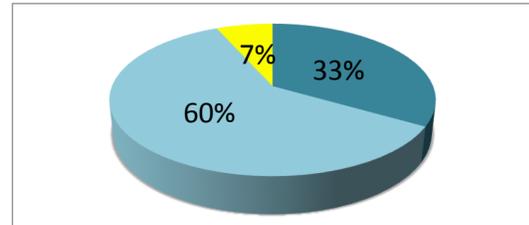
全校保護者

(14) 人間性の育成や思考力育成の礎としての積極的な読書指導  
教員



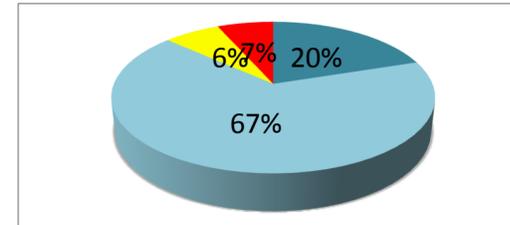
全校保護者

(11) 会話を重視するなど、工夫した英語の授業  
教員



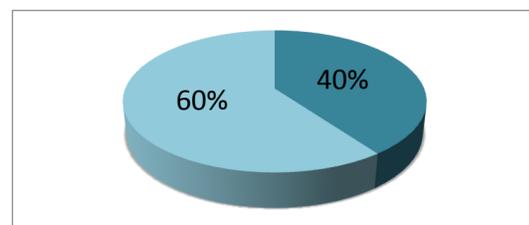
全校保護者

(15) 学年に応じて多くの教科等でのICT利用  
教員



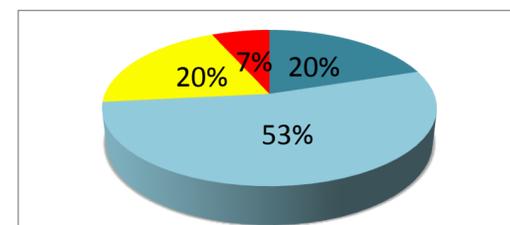
全校保護者

(12) 英語の授業や総合的な時間を使った国際理解教育  
教員

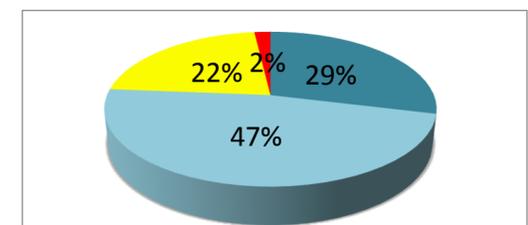
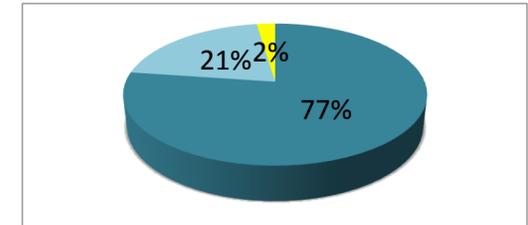
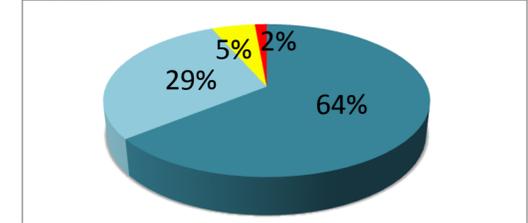
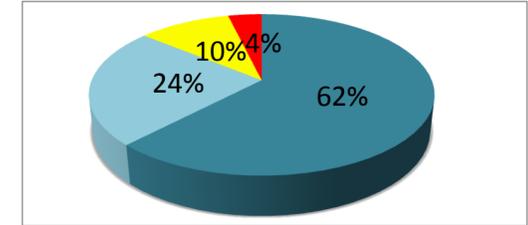


全校保護者

(16) 学校の情報がHPによって積極的に発信  
教員

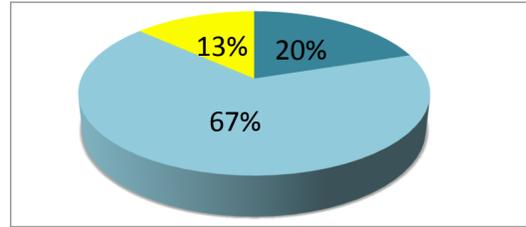


全校保護者

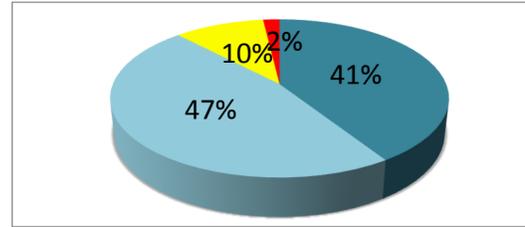


(■ 1.よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3.あまりあてはまらない ■ 4. まったくあてはまらない)

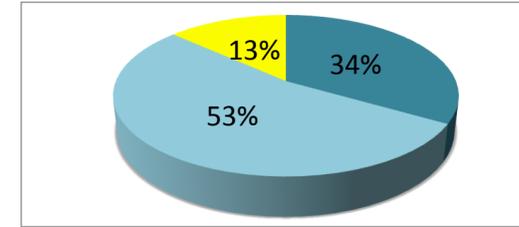
(17)基本的な生活習慣などの積極的な指導  
教員



全校保護者



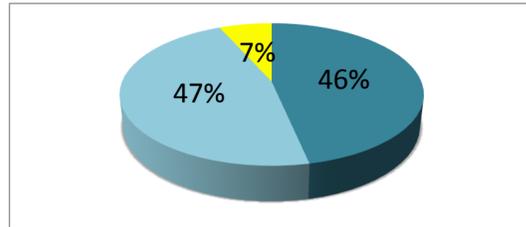
(21)クラブや委員会活動において自治意識や友達作り  
教員



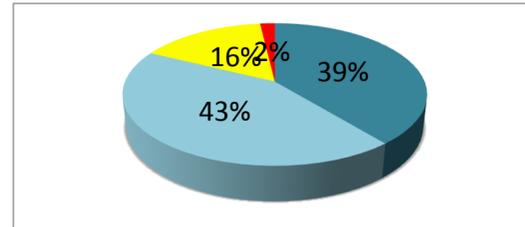
全校保護者



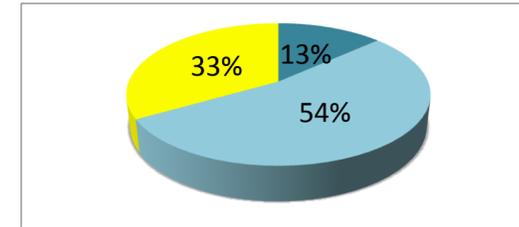
(18)いじめや不登校などの未然防止  
教員



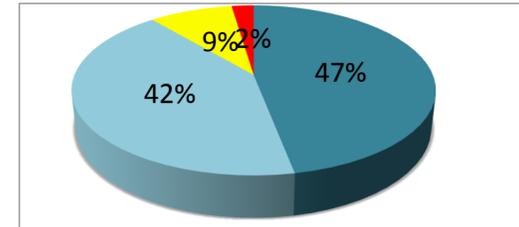
全校保護者



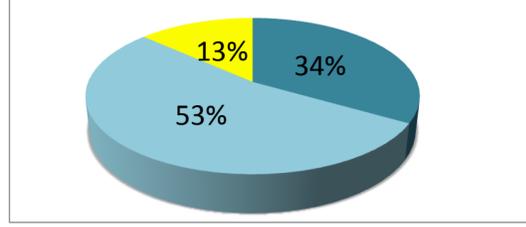
(22)基本的な道徳的価値や実践力等の育成  
教員



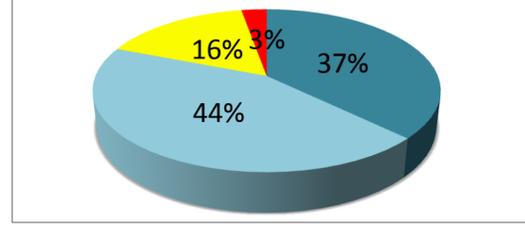
全校保護者



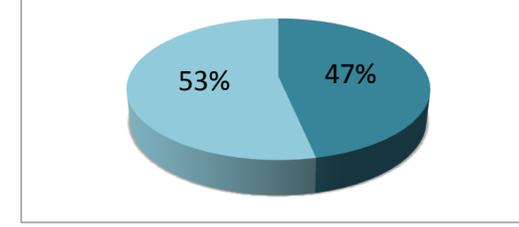
(19)登下校のルールなどの積極的指導  
教員



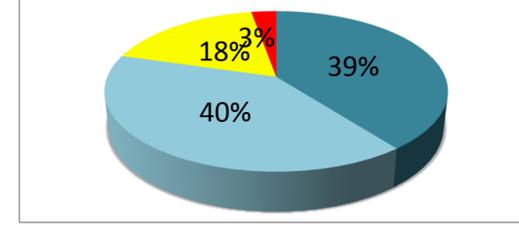
全校保護者



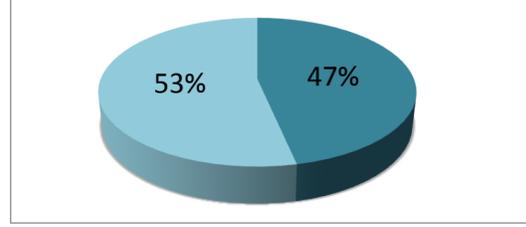
(23)いじめや悪口を許さない学校・学級作り  
教員



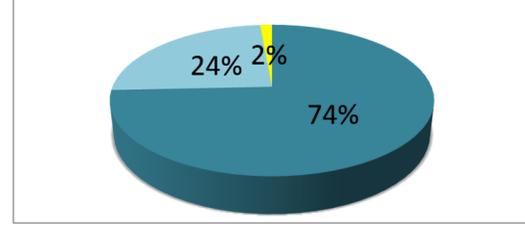
全校保護者



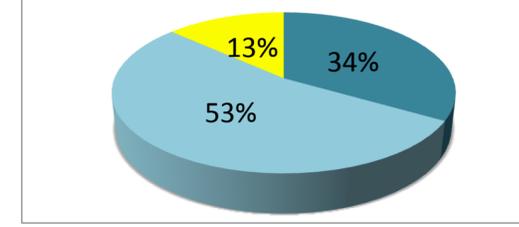
(20)学年・学級行事や運動会・文化祭などの行事  
教員



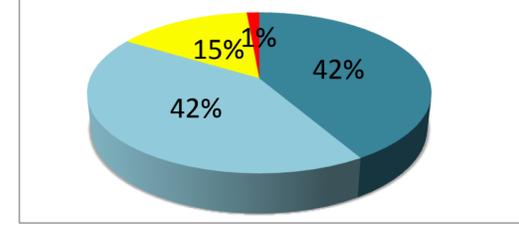
全校保護者



(24)いのちをテーマとした授業  
教員

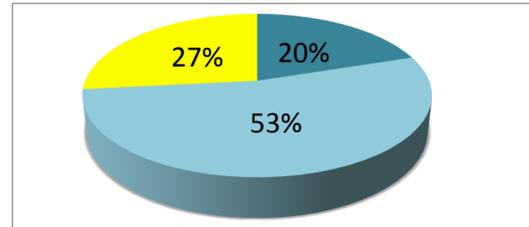


全校保護者

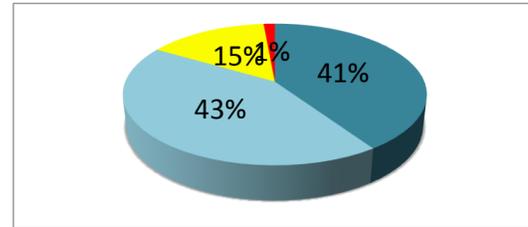


(■1.よくあてはまる ■2. ややあてはまる ■3.あまりあてはまらない ■4. まったくあてはまらない)

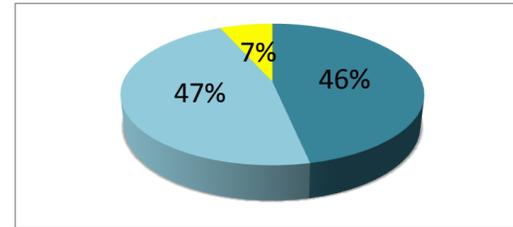
(25)家庭環境や国籍の違いを認め合う教育  
教員



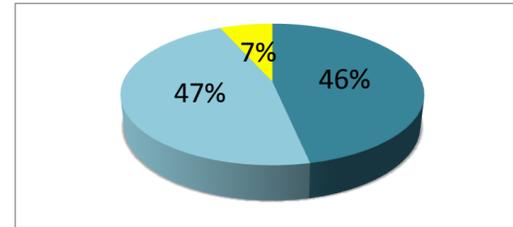
全校保護者



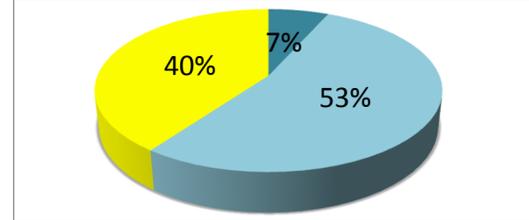
(29)登下校の安全管理のための各児童の登下校等の集約  
教員



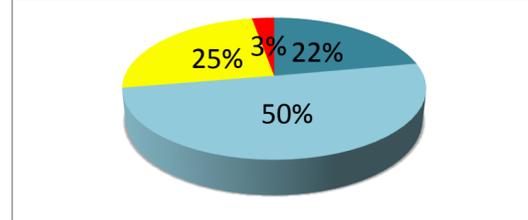
全校保護者



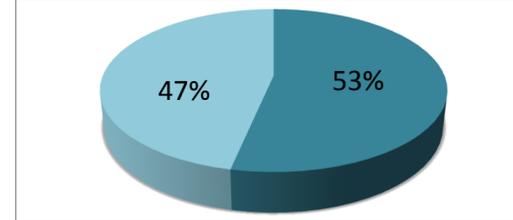
(26)学年に応じた社会における人権問題に関する教育  
教員



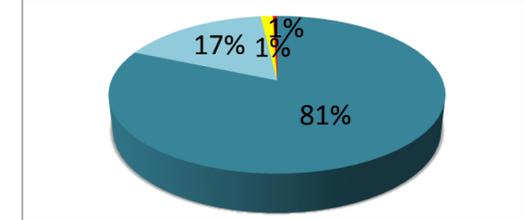
全校保護者



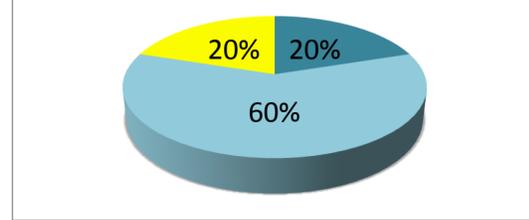
(30)各児童の登下校状況のチェック  
教員



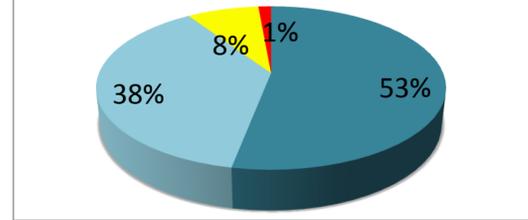
全校保護者



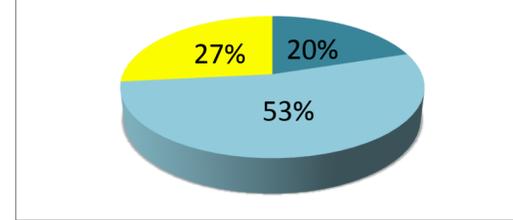
(27)運動に対する意欲・関心を高め、積極的な体力作り  
教員



全校保護者



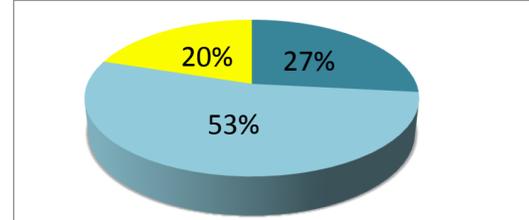
(31)児童自らの危機回避能力の向上  
教員



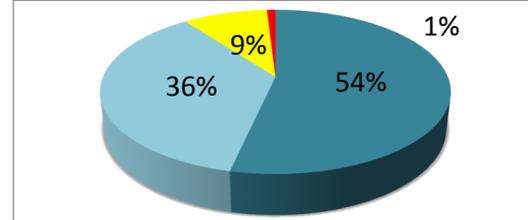
全校保護者



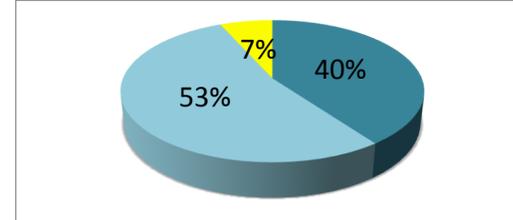
(28)健康や食に対する意欲・関心を高めるための取り組み  
教員



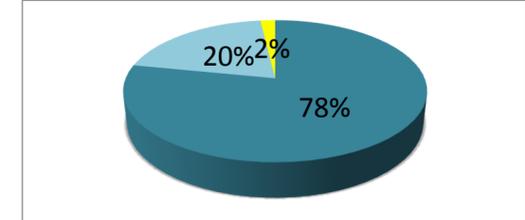
全校保護者



(32)警報発令時の登下校指示  
教員

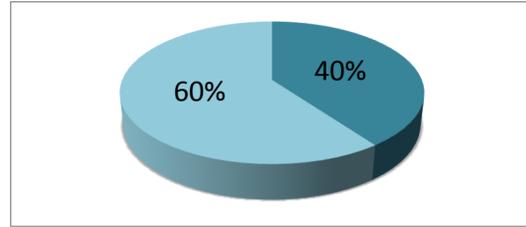


全校保護者

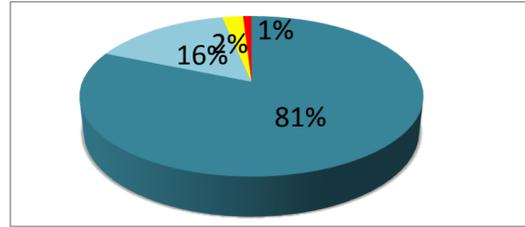


(■1.よくあてはまる ■2. ややあてはまる ■3.あまりあてはまらない ■4. まったくあてはまらない)

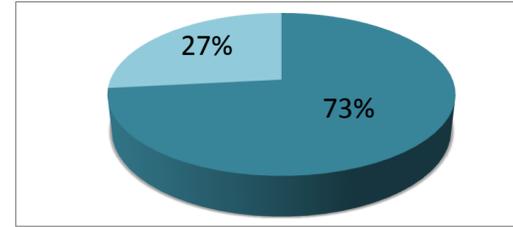
(33)各種避難訓練を教育課程に位置づけ、計画的に実施  
教員



全校保護者

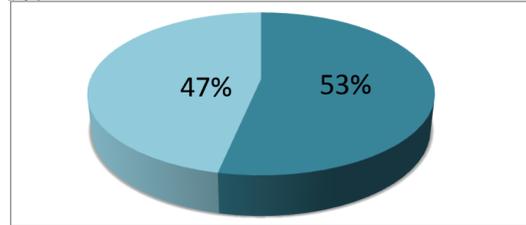


(37)計画的な入試・広報活動  
教員

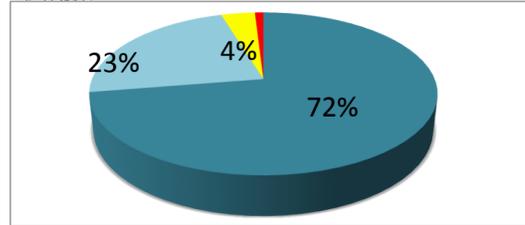


全校保護者

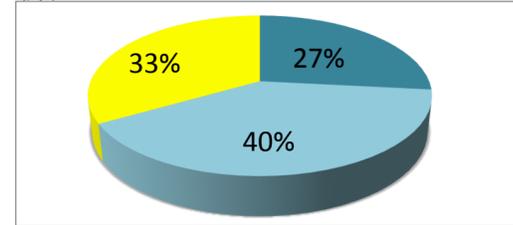
(34)思考力育成や授業全般の指導力向上の研修  
教員



全校保護者

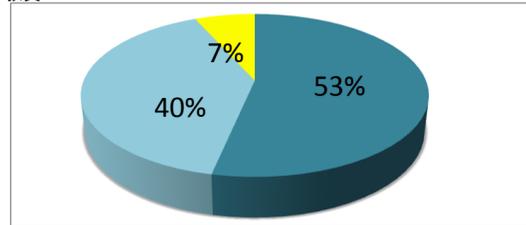


(38)研修を中心に関西大学との連携  
教員



全校保護者

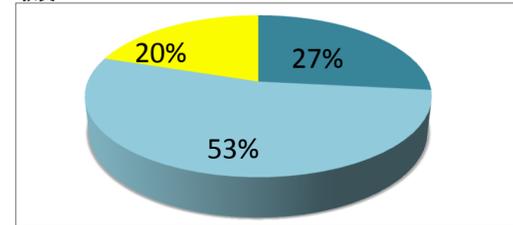
(35)思考スキルを取り入れた教科指導  
教員



全校保護者

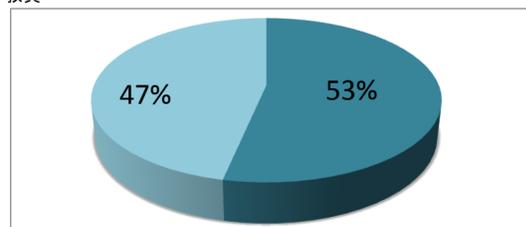


(39)教育後援会との緊密な連携  
教員

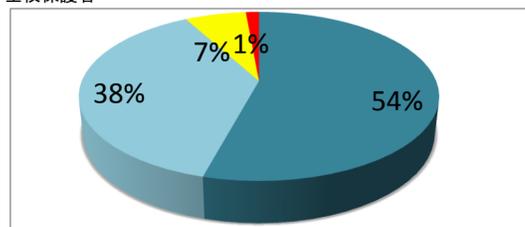


全校保護者

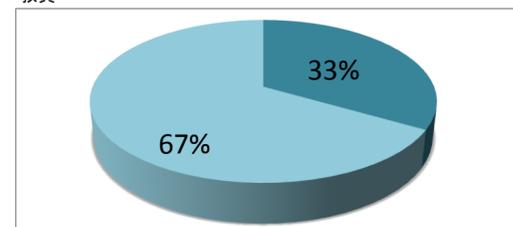
(36)第2回研究発表大会の成功に向けて  
教員



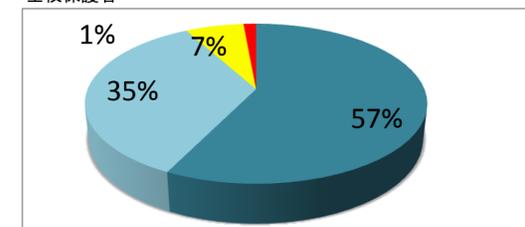
全校保護者



(40)学校や家庭との連絡や懇談  
教員



全校保護者



(■1.よくあてはまる ■2.ややあてはまる ■3.あまりあてはまらない ■4.まったくあてはまらない)